

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月8日

【四半期会計期間】 第47期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 ジーエルサイエンス株式会社

【英訳名】 GL Sciences Inc.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 外 丸 勝 彦

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿六丁目22番1号

【電話番号】 03(5323)6633(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 山 下 俊 一

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿六丁目22番1号

【電話番号】 03(5323)6633(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 山 下 俊 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期 連結累計期間	第47期 第2四半期 連結累計期間	第46期	
				自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日
売上高	(千円)	8,025,695	7,938,241	16,740,279
経常利益	(千円)	493,757	272,885	1,133,452
四半期(当期)純利益	(千円)	285,777	112,075	525,500
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	353,464	450,414	993,803
純資産額	(千円)	15,223,396	16,138,127	15,862,183
総資産額	(千円)	22,283,884	22,670,743	22,841,903
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	55.71	21.85	102.43
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	—	—	—
自己資本比率	(%)	59.8	62.1	60.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	820,313	474,524	1,808,938
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△519,969	△346,019	△647,960
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△512,576	△276,065	△692,900
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,738,971	3,374,864	3,480,876

回次	第46期 第2四半期 連結会計期間	第47期 第2四半期 連結会計期間	
			自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	42.33	19.65

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社につきましては、平成25年4月に当社の自動認識事業を分社化したジーエルソリューションズ株式会社を連結子会社としております。

この結果、平成25年9月30日現在では、当社グループは、当社、子会社7社及び関連会社2社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策などを背景に、円安基調の継続や株式市場の活況など輸出企業を中心に業績の回復が見られましたが、新興国の景気減速懸念などにより、引き続き不透明な状況が続きました。

このような経営環境下におきまして、売上高につきましては、半導体事業は前年同期並み、自動認識事業が前年同期を大きく上回りましたが、分析機器事業が下回ったため、グループ全体では、7,938百万円(前年同期比 1.1%減)となりました。

損益につきましては、減収の影響を受け、前年同期に比べ大幅な減益となり、営業利益は 245百万円(前年同期比 50.7%減)、経常利益は 272百万円(前年同期比 44.7%減)、四半期純利益は 112百万円(前年同期比 60.8%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(分析機器事業)

分析機器事業におきましては、依然として続く、設備投資の縮小、予算執行の遅れなどの市場状況にともなう装置受注低迷等の影響により、売上高は、前年同期を下回る結果となりました。

特に装置につきましては、バイオ市場向けの大型装置や自社製液体クロマトグラフ (LC) 装置、他社製LC装置が前年同期を大きく下回りました。

消耗品につきましては、海外においてLC用自社製充填カラムの売上が前年同期を大きく上回りました。

また、国内では金属等の無機物質の分析のために用いる試薬、消耗品、及び固相抽出や、LC用自社製ならびに他社製充填カラムの売上が前年同期を上回り、消耗品全体の売上では、前年同期比微増となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 5,092百万円(前年同期比 4.1%減)、営業利益は 82百万円(前年同期比 55.9%減)となりました。

(半導体事業)

半導体業界におきましては、パソコンや液晶テレビなどの民生用電子機器の需要は低迷しましたが、スマートフォンやタブレット端末などモバイル端末の需要拡大が継続したことから、緩やかな回復基調となりました。

このような環境の中、当事業の半導体製造プロセスの前工程で使われる消耗品につきましては、国内市場の需要は依然として弱いものの、一部には回復の兆しが見られました。一方、海外市場では主にアジア地域での需要拡大を受けて、受注は増加しました。

売上高は、受注に回復傾向が見られたものの、売上に至るリードタイムなどから、緩やかな増加に止まりました。

また、円安や価格競争の激化に伴い原価率が悪化したほか、販売費及び一般管理費も増加したことから、営業成績は総じて前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 2,349百万円(前年同期比 0.6%増)、営業利益は 133百万円(前年同期比 58.1%減)となりました。

(自動認識事業)

自動認識事業におきましては、当事業が注力しているアクセスコントロール関連市場（警備機器、勤怠管理機器、入退室管理機器）では、企業間競争の激化により厳しい状況となっております。

このような状況の中、「モジュール」は堅調に推移し、従来のhitag製品に加えアミューズメントに使用する新製品「NM30-U」の投入も加わり、前年同期を上回ることができました。「完成系製品」は、鍵管理ボックス「Key-EMA」が売上を伸ばし、オフィス、マンション向け壁付けリーダー「XR01・XR10シリーズ」も好調を維持しております。インテリジェントターミナルCENTi0「XP35C6シリーズ」は出席管理用端末として引き合いがまとまりつつあります。「タグカード」はUHF帯を扱う（特殊）カードが伸び悩み、売上を伸ばすことができませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 496百万円（前年同期比 30.1%増）、営業利益は 26百万円(前年同期は営業損失 9百万円)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末と比べて635百万円増加し3,374百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益250百万円、売上債権の減少額503百万円、仕入債務の減少額356百万円、減価償却費308百万円、法人税等の支払額149百万円などにより、474百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は820百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出228百万円、有価証券の償還による収入200百万円、投資有価証券の取得による支出128百万円、有価証券の取得による支出100百万円などにより、346百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は519百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入800百万円、長期借入金の返済による支出489百万円、短期借入金の純減少額391百万円、配当金の支払額153百万円などにより、276百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は512百万円の支出)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は444百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,380,000
計	22,380,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,595,000	5,595,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株でありま す。
計	5,595,000	5,595,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日	—	5,595,000	—	1,207,795	—	1,751,219

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ジーエルサイエンス従業員持株会	東京都新宿区西新宿六丁目22番1号	675	12.07
ジーエルサイエンス株式会社	東京都新宿区西新宿六丁目22番1号	464	8.31
株式会社島津製作所	京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地	290	5.18
森 禮 子	東京都杉並区	253	4.52
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	249	4.45
株式会社山口銀行	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号	248	4.43
株式会社みなと銀行	兵庫県神戸市中央区三宮町二丁目1番1号	222	3.97
東京中小企業投資育成株式会社	東京都渋谷区渋谷三丁目29番22号	212	3.80
公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン	東京都港区芝三丁目1番14号	200	3.57
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	東京都中央区日本橋三丁目11番1号	148	2.65
計	—	2,963	52.97

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 464,800	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,129,200	51,292	—
単元未満株式	普通株式 1,000	—	—
発行済株式総数	5,595,000	—	—
総株主の議決権	—	51,292	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式50株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ジェーエルサイエンス株式会社	東京都新宿区西新宿 六丁目22番1号	464,800	—	464,800	8.31
計	—	464,800	—	464,800	8.31

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人A&Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,098,448	5,092,271
受取手形及び売掛金	※ 5,803,673	5,320,903
商品及び製品	879,600	856,671
仕掛品	810,975	947,028
原材料及び貯蔵品	1,172,574	1,154,309
その他	573,285	445,989
貸倒引当金	△2,477	△2,877
流動資産合計	14,336,079	13,814,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,418,965	2,429,539
土地	3,216,888	3,214,962
その他（純額）	1,424,995	1,577,960
有形固定資産合計	7,060,849	7,222,461
無形固定資産		
投資その他の資産	91,474	89,767
その他	1,355,917	1,547,234
貸倒引当金	△2,417	△3,017
投資その他の資産合計	1,353,499	1,544,217
固定資産合計	8,505,824	8,856,446
資産合計	22,841,903	22,670,743
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 2,206,356	1,905,036
短期借入金	2,314,592	1,862,295
賞与引当金	343,537	326,897
役員退職慰労引当金	26,360	—
その他	759,737	682,495
流動負債合計	5,650,584	4,776,724
固定負債		
長期借入金	819,220	1,190,421
退職給付引当金	263,891	278,022
役員退職慰労引当金	40,387	50,329
その他	205,637	237,118
固定負債合計	1,329,136	1,755,891
負債合計	6,979,720	6,532,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,819,711	1,819,711
利益剰余金	11,603,686	11,560,510
自己株式	△508,907	△508,907
株主資本合計	14,122,285	14,079,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,382	121,675
繰延ヘッジ損益	△10,071	2,393
土地再評価差額金	△330,315	△328,141
為替換算調整勘定	30,677	213,272
その他の包括利益累計額合計	△220,326	9,200
少数株主持分	1,960,223	2,049,816
純資産合計	15,862,183	16,138,127
負債純資産合計	22,841,903	22,670,743

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,025,695	7,938,241
売上原価	5,114,841	5,113,893
売上総利益	2,910,853	2,824,348
販売費及び一般管理費	※ 2,413,453	※ 2,579,279
営業利益	497,400	245,068
営業外収益		
受取配当金	10,849	10,669
持分法による投資利益	8,660	15,573
その他	37,396	23,220
営業外収益合計	56,906	49,464
営業外費用		
支払利息	20,910	16,985
為替差損	36,725	—
その他	2,913	4,662
営業外費用合計	60,549	21,647
経常利益	493,757	272,885
特別利益		
固定資産売却益	226	—
特別利益合計	226	—
特別損失		
固定資産除却損	6,656	17,540
投資有価証券売却損	129	—
減損損失	—	4,977
特別損失合計	6,786	22,518
税金等調整前四半期純利益	487,197	250,367
法人税、住民税及び事業税	68,021	115,772
法人税等調整額	42,619	2,437
法人税等合計	110,641	118,209
少数株主損益調整前四半期純利益	376,556	132,157
少数株主利益	90,778	20,082
四半期純利益	285,777	112,075

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	376,556	132,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75,197	31,646
繰延ヘッジ損益	4,778	12,464
為替換算調整勘定	45,240	258,370
土地再評価差額金	—	826
持分法適用会社に対する持分相当額	2,086	14,947
その他の包括利益合計	△23,092	318,256
四半期包括利益	353,464	450,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,212	340,255
少数株主に係る四半期包括利益	99,252	110,158

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	487,197	250,367
減価償却費	292,241	308,944
負ののれん償却額	△561	△499
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,428	△16,640
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,693	896
受取利息及び受取配当金	△12,736	△11,739
支払利息	20,910	16,985
売上債権の増減額 (△は増加)	434,303	503,584
たな卸資産の増減額 (△は増加)	114,968	△36,669
仕入債務の増減額 (△は減少)	△262,422	△356,399
減損損失	—	4,977
その他	△25,233	△33,440
小計	1,022,546	630,367
利息及び配当金の受取額	16,585	11,276
利息の支払額	△21,005	△17,246
法人税等の支払額	△197,812	△149,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	820,313	474,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△669,234	△688,627
定期預金の払戻による収入	577,068	588,793
有価証券の取得による支出	△200,000	△100,000
有価証券の償還による収入	64,957	200,036
有形固定資産の取得による支出	△263,399	△228,829
無形固定資産の取得による支出	△9,711	△3,054
投資有価証券の取得による支出	△21,248	△128,612
その他	1,598	14,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△519,969	△346,019
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△632,200	△391,360
長期借入れによる収入	900,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△593,656	△489,736
自己株式の取得による支出	△17	—
リース債務の返済による支出	△15,037	△20,921
配当金の支払額	△153,499	△153,854
少数株主への配当金の支払額	△18,165	△20,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△512,576	△276,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,891	41,548
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△221,123	△106,011
現金及び現金同等物の期首残高	2,960,094	3,480,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,738,971	※ 3,374,864

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、新たに設立したジーエルソリューションズ株式会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	133,343千円	—
支払手形	258,076 "	—

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給料及び手当	743,744千円	728,183千円
賞与引当金繰入額	192,463 "	159,849 "
退職給付引当金繰入額	14,292 "	39,944 "
役員退職慰労引当金繰入額	8,999 "	9,941 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	4,536,330千円	5,092,271千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△1,797,359 "	△1,717,406 "
現金及び現金同等物	2,738,971千円	3,374,864千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	153,905	30	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	153,904	30	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,307,722	2,336,495	381,477	8,025,695	—	8,025,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	33,093	10,634	43,727	△43,727	—
計	5,307,722	2,369,588	392,111	8,069,422	△43,727	8,025,695
セグメント利益 又は損失(△)	187,858	318,701	△9,749	496,810	590	497,400

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,092,065	2,349,944	496,231	7,938,241	—	7,938,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,266	31,444	2,200	34,911	△34,911	—
計	5,093,331	2,381,389	498,431	7,973,153	△34,911	7,938,241
セグメント利益	82,892	133,643	26,929	243,465	1,603	245,068

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	55.71	21.85
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	285,777	112,075
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	285,777	112,075
普通株式の期中平均株式数(株)	5,130,153	5,130,150

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月5日

ジーエルサイエンス株式会社

取締役会 御中

監査法人A&Aパートナーズ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 間 久 幸 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 町 田 眞 友 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジーエルサイエンス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジーエルサイエンス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。